

# 高知県梼原町教育委員会

## (概要)

- ・ 設置校数：小学校 3 校、中学校 1 校
- ・ 環境を考慮した学校施設（エコスクール）として既に取り組んでいる学校数：小学校 3 校、中学校 1 校
- ・ エコスクールへの取組時期：平成 1 5 年～平成 2 1 年
- ・ エコスクール化の方針
 

梼原町が平成 1 3 年 3 月に策定した「環境の里づくり」「健康の里づくり」「教育の里づくり」の基本方針 3 本柱に則り、様々なエコ活動を推進すると共に、自然環境から得られる新エネルギーの導入を積極的に進めていく。
- ・ 要旨
 

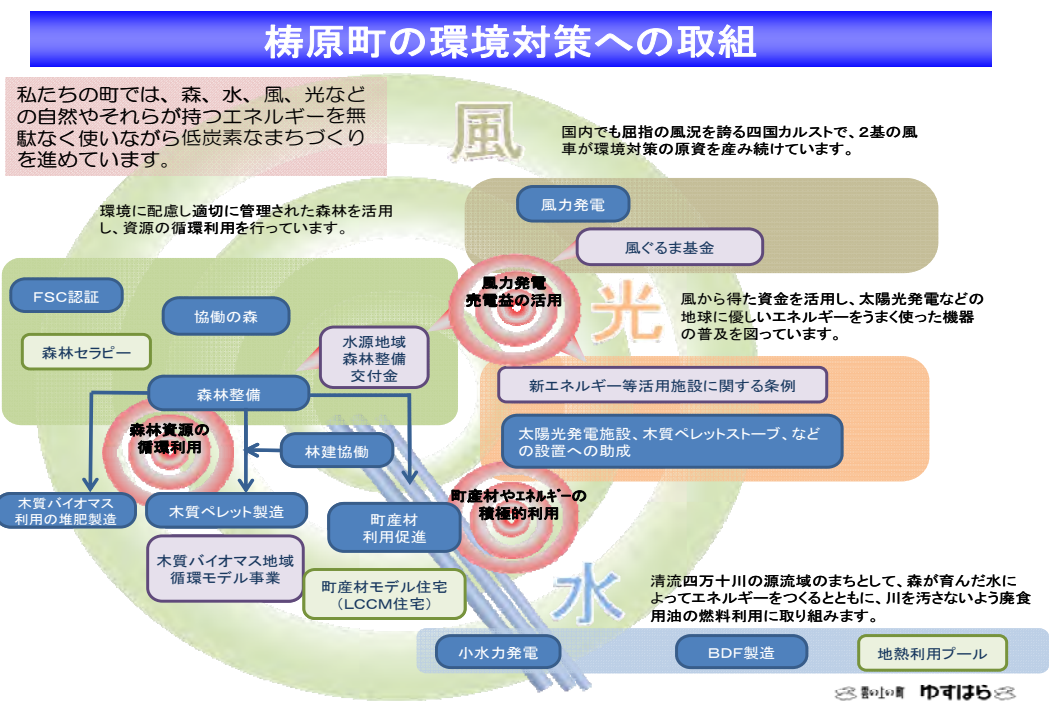
町内小学校 太陽光発電施設の設置 (18Kw 50Kw 60Kw)

中学校 寮に木質バイオマスを使った冷暖房システムの導入  
小水力発電の導入 (53Kw)

## (エコスクール化の内容)

梼原町は、自然エネルギーを積極的に導入する環境の里づくりを進めている。平成 1 1 年に風力発電施設 (6 0 0 K w × 2 基) を設置し、その売電収益で人工林の間伐を進め、また太陽光発電施設や太陽熱温水器など環境にやさしい設備を導入する一般家庭への補助をするなど、町民への環境施策を多く実施している。平成 1 9 年度には木質ペレット製造工場を建設し、町内のホテルや中学校寮、特別養護老人ホーム等へのペレット炊きの冷暖房システムを導入した。さらに、小水力発電施設を建設し梼原中学校の日中の電気を賄い、夜間は街中の街路灯の電気になっている。

こうした中で、平成 1 9 年度に梼原中学校が総務省の「エネルギー教育実践校」として認定され 3 年間にわたり環境にやさしいエネルギー教育を実践した。太陽光発電は町内すべての小学校に導入しているが、山間部であるため日当たりの善し悪しがあることは避けられず、発電量の多少が存在している。



## 梶原中学校の環境学習



ソーラーパネルの組み立て



木質バイオマス学習



梶原町エネルギー教育研究会  
環境エネルギー総合研究所所長による講演



エネルギー新聞作成

## (エコスクール化の効果)

梶原町が町の方針として環境政策に取り組んだことにより、年間の間伐実績が1000haに倍増し、その材はペレットに姿を変えている。そして、公共施設は新築、改修の際には町産材をふんだんに使い、地産地消の原動力となっている。また学校施設をはじめとする公共施設に太陽光発電の導入を進めた結果、その導入量は延べ408Kwになり、個人住宅においても104戸(設置率5.7%)が太陽光発電施設を設置している。

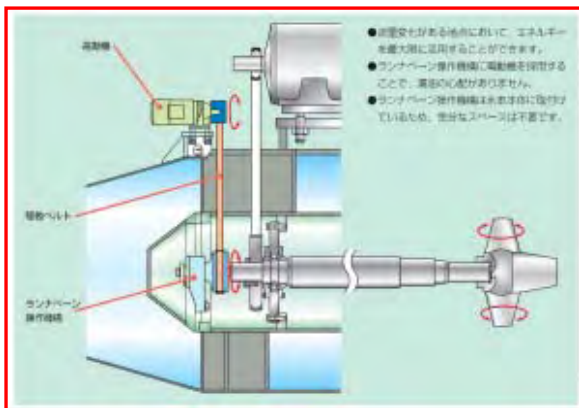


中学校寮のペレットボイラー施設

## (地域等の環境・エネルギー教育、意識向上)

梶原町の地域住民や学校に対する補助金や施設整備、毎月の環境整備デイの設定など、様々な仕掛けにより地域住民の環境に対する意識が高まり、各区がそれぞれ環境整備の日を設け環境美化活動を行ったり、木材の地産地消を進めたことにより地域の木の町のイメージが大きくなっている。

梶原中学校に設置した小水力発電による夜間電力を利用した街灯照明は、梶原の街なみに明るくやさしい印象を与え、「こんな田舎町ではありえない」といった声が聞かれるなど梶原のシンボルロードとして愛される重要な役割を果たしている。



小水力発電を利用した街なみの夜間照明

